

栄東まちづくり協議会 10 月会議 議事録

日 時 2021 年 10 月 7 日（木）18:30～20:30 場 所 栄東まちづくり協議会会議室

出席者 田端、宇野、野田、近藤、小澤、加藤、村松、齋藤、大谷、大畑、石塚、横井

傍聴人 0 名

● 定足数及び議事録署名人の確認

13 人中 12 人の出席で規約第 10 条第 2 項の規定（在籍会員の過半数の出席）により有効に成立、議事録署名人は近藤委員と村松副会長とする。

議題：

1 防犯カメラ整備事業

栄 5 丁目防犯カメラ運営の改善と、栄 4 丁目防犯カメラ整備について、資料のとおり説明した。

<審議 1> 栄 5 丁目防犯カメラ運用の改善と栄 4 丁目防犯カメラ整備場所・スケジュールについて、資料のとおり進めることが全員一致で承認された。

2 防災訓練

オンライン防災訓練の動画視聴者にお渡しする保存用非常食とボールペンの説明を行い、ボールペン購入にともなう契約の承認案件について説明した。

<審議 2> 資料にある契約締結について、全員一致で承認された。

（質問、意見及び回答）

- 補助金執行の立場からすると、相見積りの有無と見積りの結果で安い相手であることが契約の根拠となる。監査でも相見積りが確認される。
→相見積りを行い、今回の契約が安いことを確認している。
- 財務規定上は、相見積りが必要となるのは 30 万円以上だが、契約相手が委員になると価格に関係なく会議の承認や見積りが必要となることを見直せないものか。
→補助金執行上は、契約先が委員だと必ず承認と相見積りが必要となる。

3 公衆無線 LAN（フリーWi-Fi）活用

公衆無線 LAN（フリーWi-Fi）活用の検討として資料のとおり説明した。説明会はオンライン併用ではない方法で実施することとなった。

<審議 3> 資料のとおり説明会と報告会を実施することが全員一致で承認された。

(質問、意見及び回答)

- 11月に報告会を協議会ですとはどういうことか。
→(説明会は)地域住民や事業者で公衆無線 LAN(フリーWi-Fi)の現状について知っていただき、活用についての意見を協議会にいただきたいと考えている。報告会は、公衆無線 LAN(フリーWi-Fi)が協議会の補助金事業として、どのように活用されるか検討する場である。
- 補助金事業として公衆無線 LAN(フリーWi-Fi)活用方法を決定する場合は協議会である。

4 池田公園トイレ天井リノベーション

中日ビルモザイクタイル『夜空の饗宴(きょうえん):矢橋六郎作』を池田公園トイレ多目的室天井につけるために名古屋市と協議した設計方針と今後のスケジュール等について資料のとおり説明した。

<審議4>資料のとおり、池田公園トイレリノベーションを進めることが全員一致で承認された。

(質問、意見及び回答)

- 銘板や表示を考えているのか。イタズラ防止のためには銘板はないか小さい方がいい。
→銘板の設計方法や費用等を調査する。
- ホームページで紹介するなど、費用負担のない方法で記録を残してはどうか。
→ご意見を参考に、ホームページ等で記録を残す方法を検討したい。

5 池田公園修景(小規模リノベーション)

池田公園修景として、防災器具庫の建替えと植木整備について説明した。

<審議5>倉庫は、現状の倉庫にある物を保管できる大きさ(10㎡以下)で使いやすい倉庫に建替えることを地域で意見集約し、植木整備の希望を地域で意見集約することが全員一致で承認された。

(質問、意見及び回答)

- 池田公園にある防災器具庫の横の倉庫は何に使われているのか。名古屋市基準では一つの公園に防災器具庫は10㎡以下である。建築確認には高額な費用が必要となる。小さな倉庫をいくつか置く方法もある。
→栄東まちづくりの会が名古屋市と締結した公園の管理協定に基づき設置が認められ

た倉庫であり、公園の管理に必要なものが入っている。昨年、公園トイレ建替えの際に倉庫を含んで建築確認申請を取っている。

(補足：建築確認申請は同一敷地の建物が全て申請の対象となる)

- 大きいものを大きい倉庫に入れて、他は小さい倉庫に入れるということはできないか。
→大きい倉庫も古くて、建替えは必要だと思っている。
- 地域での意見集約事項は、ある程度絞り込んだ上で、地域に聞く方がいいのではないか。
→絞り込んで意見集約した方が良い事項もあると思う。事務局として今後の資料や提案内容を精査したい。
- 予算も大事だが、地域が使いやすい倉庫にして欲しい。手続きがあるかもしれないが、今後地域で何十年と使えるような、しっかりとした倉庫が地域には必要だ。

6 事業評価及び、次年度事業計画（案）・予算（案）作成スケジュール

資料のとおり、事業評価と次年度事業計画・予算（案）の作成について説明した。

<審議 6> 事業評価はシートを採点式に修正し、スケジュール等は資料のとおり進めることが全員一致で承認された。

(質問、意見及び回答)

- 事業評価シートを記述式ではなく採点式で記載できると、成果を共有しやすい。採点式では評価できないことを自由記述にすると、書く方も見る方も分かりやすいと思う。
- 事業の大きな方向性を変えるわけではないので、今やっている事業を客観的に見て整理するには採点式の方が書きやすい、まとめやすい、見やすいと思う。
→事業評価シートを採点式に修正する。修正内容は正副会長に一任して頂く。

報告：

資料のとおり、街路灯整備事業とイルミネーションイベント及び、事務局職員の採用、大学からのインターンについて報告した。

その他：

街路灯整備について

今年度街路灯を整備する当該町内会から、照度（明るさ）を半分に落とすと電気料金が半額になるので、広告料を半額にして欲しいという要望があった。協議会として街路灯整備の課

題を見直し、行政の意見を踏まえて先の要望に対して対応する。

(意見)

- 行政として、今回の町内会の要望に驚いている。皆さんが安全に通る歩道をつくるための街路灯の照度をなぜ暗くしたいのか。街路灯整備は、町内会が広告枠（料金）にこだわるシステムではないはずだ。広告料が何らかのかたちで利益になるという認識があるなら、行政として捨て置けない部分がある。
- 広告主として、照度を落とすから電気代が下がる、だから広告料が半額になるというのは理解できない。このシステムの公平性という意味では、広告が付きやすい道とそうでない道があるので、整備が進むにつれ格差が出る可能性がある。